



SENSHOJI
2021 YUKARI NEWSLETTER
since 1994

ゆかり通信
VOL. 281
令和3年6月

北海道千歳市清水町1-14 鶴寶山 千正寺
TEL:0123-23-2442 FAX:0123-24-9883
ホームページ <http://sensho-ji.net/> フェイスブック @Senshoji

2021年千正寺カレンダー 6月の言葉



楽しくなければお寺じゃない。
楽しいだけでもお寺じゃない。

(松倉悦郎氏)

ゆり

「お寺は敷居が高い」以前から耳にする言葉です。

北海道には、浄土真宗本願寺派のお寺が約300カ寺ほどあります。各お寺、その言葉を払拭し、多くの方に来ていただけるようにと知恵を絞ってお寺の活動をしています。

私が尊敬している隣寺のご住職は「ゆりかごからお浄土まで」を合言葉に、生まれてから命終わるまで、人生の全てにおいてお寺のご縁を結びたいと活動をされています。その内容は、子供が生まれた家庭には「初参式」（しょさんしき：赤ちゃんの初めてのお寺参り）を行い、子供たち対象の「日曜学校」（毎月一回お寺に集ってもらい、お参りや仏様のお話を聞き、本堂で遊ぶ活動）をされています。

また、若者対象の仏教青年会の活動もあり、私も20代の頃参加させていただき、妻との出会いはそこでした。有り難いことです。そのお寺には婦人部や壮年部、お年寄りの会もあり、お寺にお伺いさせていただく度、皆さんが集い賑やかな姿を見ては、うらやましく感じています。

千正寺も通常の法要以外に「初参式」や子供たち対象の「ボーイスカウト活動」、「習字教室」、「着付教室」、「体操教室」、「婦人会」などの活動を行っています。それはひとえに多くの方に浄土真宗のみ教え、阿弥陀様の救いに出逢ってほしいという願いからです。

太陽の光が分け隔てなく世界を照らすように、阿弥陀様の救いは生きとし生けるものに平等に至り届いています。阿弥陀様の救いに等しく照らされている私たちです。開祖親鸞聖人は「阿弥陀様の救いを喜ぶ人はみな兄弟」とおっしゃり、「御同朋」お仲間ですよとお呼びくださっています。

今はコロナ過でお寺の活動も滞っていますが、これからも皆さんとともにみ教えの朋の輪を広げていきたいと願っております。（文：鹿谷賢純法務員）